

# 夏のはじまりと博物館

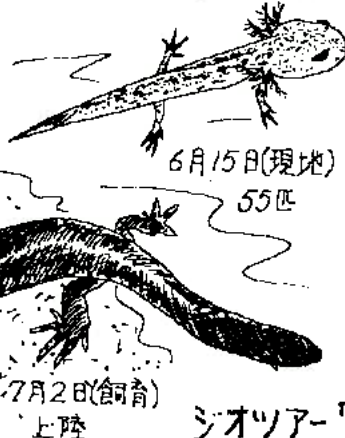
鳳来寺山  
自然科学  
博物館



はつかわだのり No.171  
2014.7

## その後のサンショウウオ (No.170参照)

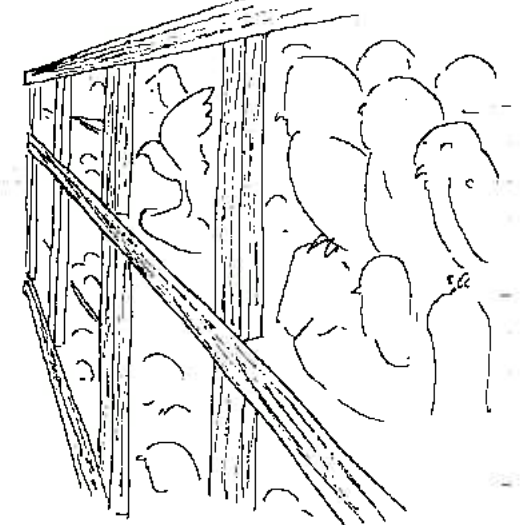
飼育観察中のサンショウウオは、7月2日に1匹が上陸すると、続いて次々と陸上生活にはいりました。水温管理、給餌に苦勞しながら観察を続けています。生息地では、6月に卵から7化した幼生を確認できました。そして7月には成体1匹と出会うことができました。



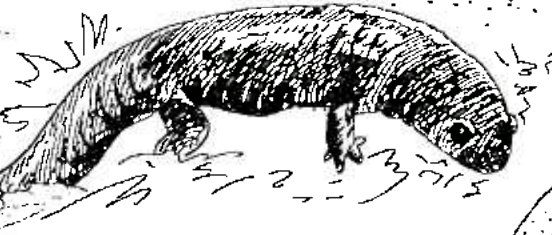
## 学習会「四谷干枚田の生きものを観察しよう」(平成26年6月1日)

45名の参加がありました。集合場所近くの防火水槽では、モリアオガエルと産んだばかりの卵塊を、まちかたで観察することができました。農業を極力使わない棚田では、タニシやアカハライモリ、サワガニが動きまわっていました。サワガニは田に穴をあけるので農家にとっては、きらわれ者だそうです。

## 標本たちの出張 (平成26年7月2日)

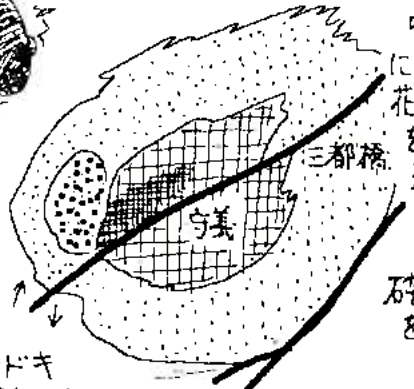


春に当館で開催したのに続いて、7月20日から田原市博物館で「田原の自然 東三河のジオパーク」が開催されました。そこには、当館から岩石・鉱物、鳥や哺乳類などの標本類が出掛けています。総勢154点の大幅出張となりました。しっかり任務をはたして帰るよう申し伝えました。

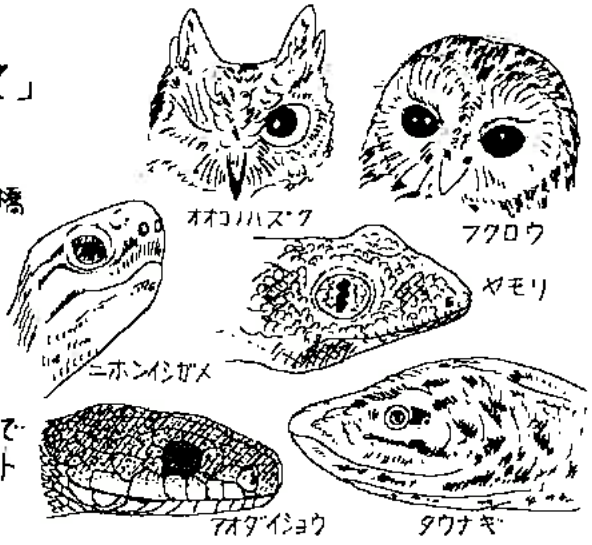


## 学習会「パレオパラドキシアの化石産地と瑞浪の地層」(平成26年7月26日、はれ、21名参加)

土岐市にある隠居山がパレオパラドキシアの完全骨格化石が発見された場所です。この一帯は瑞浪層群の地層が広がっていて、他にデズモステルスも知られています。束柱類といわれる海棲の哺乳類たちで、臼歯がカッパ巻を束ねたような形をしています。約1300万年前に絶滅しています。



鳴沢の滝のある守美から三都橋にかけて、ドーナツ状に三都橋花崗岩が分布しており、その中心を100mも上下にずれ動いた現場を見てきました。当貝津川の河床では、地下5~10kmの深さで、断層運動で砕けた岩石が固ったカクレサイトを観察することができました。

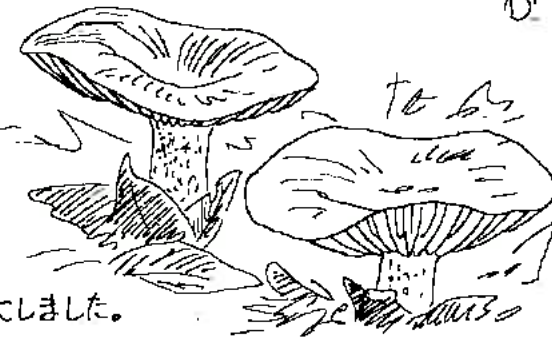


## 博物館の生きものたち

保護や持ち込みなどで飼養する生きものたちで、にぎやかになってきました。命をあずかるのは大変ですが、見学者のみさんには喜ばれています。

## 友の会行事「初夏のきのこを見つけよう」(平成26年6月22日、雨のちくもり、31名参加)

6月5日に梅雨入り(東海地方)しましたが、晴れが続いていたため、発生は少なめでした。それでもみんなでさがした結果、36種を観察できました。その中には猛毒のニセクロハツヤ、ニオイドクツルタケも含まれていました。



## フクロウ保護 (平成26年7月26日)

門谷地内で保護されました。どうやら今年巣立った若鳥のようです。何かに衝突したのか、眼もあけられず、ぐったりして立つこともままならない状態でした。安静にした後、ウズラを強制給餌し、元気になるのを待つことにしました。



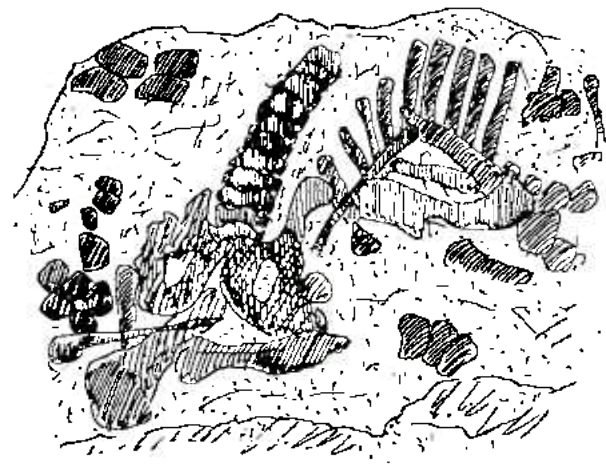
## 「昆虫のふしぎ」講座 (平成26年7月27日、20名参加)

子ども&子どもにかえりたい大人の自然講座を開催しました。野外で昆虫採集後、顕微鏡を使ってトンボの複眼や、羽のつくりなどをじっくり観察できました。



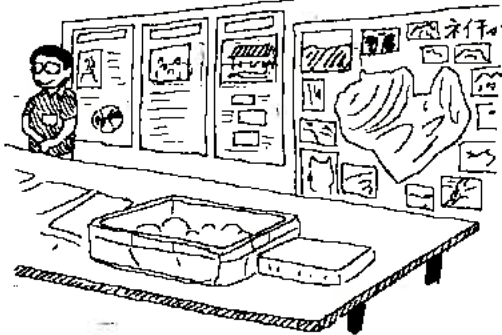
## 学校利用と博物館ガイドツアー

- 6月5日 鳳来中部小学校ガイドツアー (35+4名)
- 6月12日 北名古屋市白木中学校見学会内 (106+11名)
- 6月21日 日本初等理科学会ガイドツアー (11名)
- 6月26日 豊田市富士見小学校見学会内 (98+4名)
- 7月19日 名古屋市教育スポーツクラブ (38+3名)
- 7月25日 田口高校2年生ガイドツアー (3名)
- 7月27日 浜松第9団ガイドツアー (12名)



# 自然観察と研修の夏

先生のための博物館の日in蒲郡 (平成26年8月22日)



蒲郡市生命の海科学館で開催されました。学校の博物館利用を促進するため、三河地方の自然系博物館が各ブースで活動の紹介やワークショップをおこないました。県内の学校の先生が多数参加されました。



ジオツアー「四谷千枚田の生きものと地形・地質を観察しよう」  
(平成26年8月31日、晴、19名参加)

土石流によって形づくられた棚田の地質とそこに生息する生きものたちについて観察しました。近年では明治37年7月10日に土石流が発生し、11名が犠牲になりました。



はつかわだつ 172  
2014.9



花垣鉱山跡

中央構造線長橋橋頭

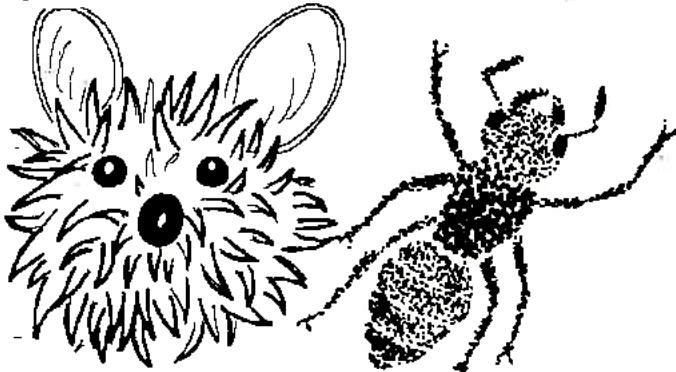
## 子ども&子どもにかえりたい大人の自然講座

### 木の奥で作ろう

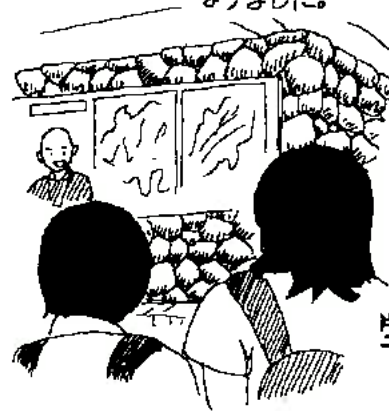
(8月17日、雲、16名参加)

### 砂絵を描こう

(8月24日、雲、26名参加)



木の実や色砂を使って作品を作りました。子どもたちの発想は斬新。昔子どもだった人とかんがって製作に取り組みました。



## 東三河初任者研修 (平成26年8月20日)

東三河地方に赴任した初任の学校の先生の研修です。学校教育に生かせる博物館の展示や出前授業など、館と積極的に協力します。

## 学習会「作手高原の生きものを観察しよう」

(平成26年8月3日、曇り-時雨、18名参加)

鬼久保広場で開催しました。湧水地や湿地があり、水辺の生きものたちを多く観察できる場所です。

この日は雨もようでしたが、チョウ類9種、トンボ類7種、甲虫類6種、バッタ類4種、セミ類4種、水生昆虫5種、両生類5種、魚類4種が確認できました。



新城中学の森くんが来てくれました。恒例の石割り、川水槽のそうじ、ガイドツアーなどを体験しました。

## 中学生職場体験

(平成26年8月5日~7日)



## 学芸員講座研修

(平成26年9月9日、57名)

名城大学の学芸員課程を受講する学生さんたちが研修でやってきました。

展示施設の他に収蔵庫の保管管理の状況などについて見学しました。

当館はあまり自慢できる状態ではありませんが、問題点もふくめてありのままを見てもらいました。

## 博物館ガイドツアー

8月7日 家族6名のガイド。

8月18日 AEL(あえる)ネットでのガイド。

OSU(大須)の大野さんとかわりの、26名の参加がありました。

博物館の見学と鳳来寺山の自然観察をセットにした博物館ガイドツアーです。少しづつですが利用が広がっているようです。

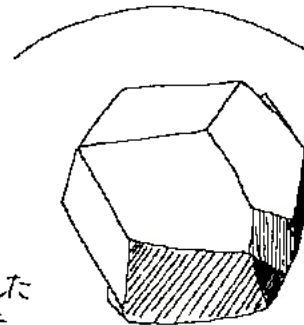


## 友の会行事「川砂の中の宝石さがし」

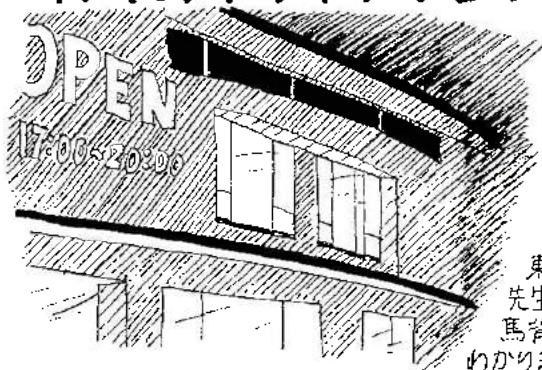
(平成26年9月13~14日、23名参加)

戦国時代に武田信玄が砂金を採ったといわれる津具の見出しの川原でパンニングをしました。宿舎では、とろ出した砂の中に砂金が入っていることを期待して、時間を忘れて顕微鏡をのぞきこみました。

ざくろ石、砂鉄に混って辰砂も採れましたが、残念ながら砂金は入っていませんでした。直径数mmでしたが、顕微鏡下のざくろ石は、宝石そのものでした。



# 秋の博物館日記



ナイトミュージアム  
(平成26年11月15日、30日)

鳳来寺山とみじ祭り千の灯火にあわせての夜間開館です。外壁にコノハスフのシルエットを浮かびあがらせて、お客様をお待ちしました。

野外学習会「きのこを調べよう」  
(平成26年10月12日、曇り、19名参加)

台風18号の通過後でした。雨の後で、きのこの発生を期待しましたが、少なめの31種の確認となりました。



秋のきのこ観察会

- きのこの季節にあわせて各地で開催しました。
- 9月27日 三河きのこ会(鬼久保広場)
  - 10月4日 きのこ観察会(海老小中学校)
  - 10月18日 田口高校きのこ観察会(門谷)
  - 10月26日 碧南水族館きのこ観察会(うでこき山)
  - 10月31日 ちさと文化講座「きのこ」(千原中学校)
  - 11月3日 一宮市歴史民俗資料館 旅ぞうクラブきのこ観察会(瀬戸市)



シンポジウム「東三河のジオサイトの可能性」とミニジオツアー  
(平成26年11月16日、71名参加、ジオツアー 30名参加)

東三河ジオパーク構想に向けてのシンポジウムです。講師は当館学術委員の仲井先生と豊橋市自然史博物館の松岡館長でした。午後は鳳来寺山、花垣鉱山跡、馬背岩を巡るミニツアーを行いました。(いずれも定員いっぱい)で、関心の高さがわかります。

特別展「新城市のジオサイト」展  
(平成26年11月15日～平成27年2月28日)



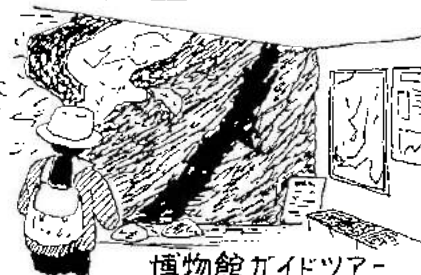
新城市内の地質的な見どころを10のエリアに分けて紹介しています。

さらに日本のジオパークについてや、この地方の大地の成り立ち、それに関連した岩石の標本類も多数展示しました。

また、豊橋市自然史博物館からお借りした南海トラフの立体地図が床いっぱいに広げてあります。3Dメガネを使うと迫力で見ることが出来ます。

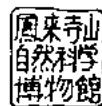
ミュージアムフェスティバル  
(平成26年11月22日～24日、快晴)

今年は3日間の開催でした。全日快晴。博物館協力の皆さんも延べ28人が出勤してくれ、博物館51周年の感謝祭を盛りあげてくれました。イベント参加者は入館者を含み、3日間で1741人。最近では最高の来館者数となりました。ありがとうございました。



博物館ガイドツアーと見学会

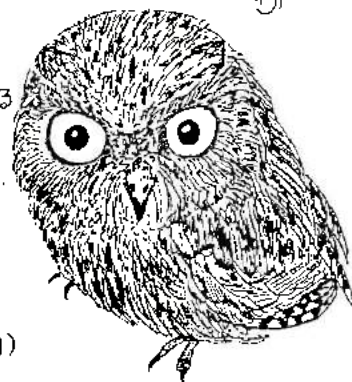
- 10月8日 一宮西部小学校6年生
- 10月19日 一般ガイドツアー
- 10月22日 鳳来中部小学校2年生
- 10月23日 東郷西小学校3年生
- 11月11日 名古屋博物館友の会一行
- 11月15日 半田市博物館一行
- 11月26日 東郷東小学校6年生



はつかり 173  
2014.11

コノハスフ来館  
(平成26年10月6日)

日進市内で飛べなくなっているところを保護され、博物館へやってきました。外傷はないようですが、しばらく様子を見ることにしました。



秋の特別展「きのこ展」  
(平成26年9月28日～10月31日)

2年ぶりの開催です。9月中旬には雨が多く、たくさんのきのこが発生しました。展示が始まると晴天が続き、テーブルに並ぶきのこが少なくなりましたが、きのこ好きな市民のみなさんが、きのこを片手に来てくれました。

野外学習会「湯谷の馬背岩と不動滝の紅葉を楽しむ」  
(平成26年11月30日、くどりのち晴、19名参加)

湯谷での植物観察は今回が初です。これまでは地学で石ばかり見てきました。今回は馬背岩のある宇連川沿いや、不動滝のある乙女沢の紅葉を楽しみながらの植物観察になりました。岩場や水ぎわの植物、燃えるような紅葉をじっくりと観察することができました。



# 冬も博物館

## ジオサイト候補地視察

①セリサイト鉱山  
(平成26年12月10日)

三山奇社長の案内で坑内の見学もできました。化粧品原料となる絹雲母は、今も手で掘り進められています。

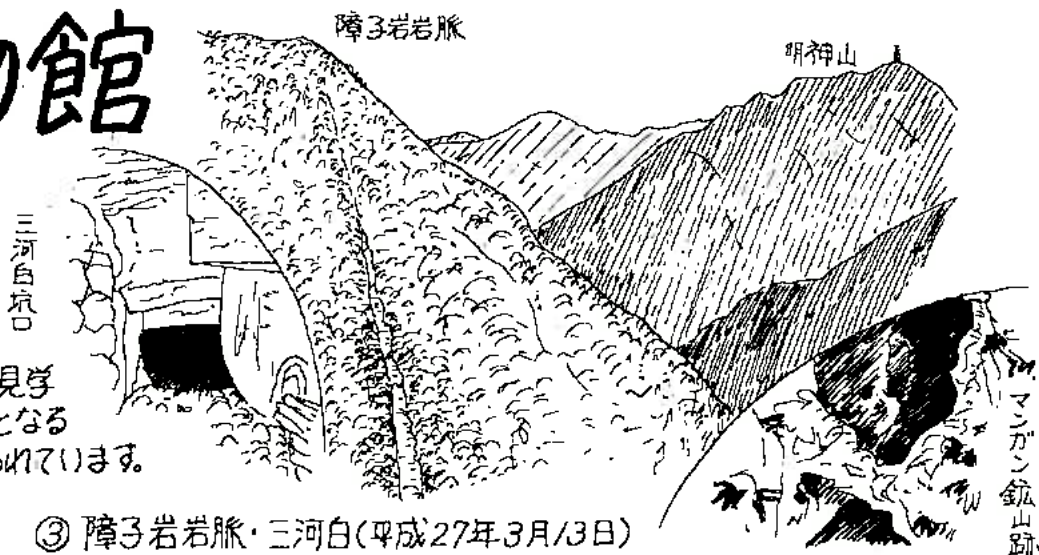
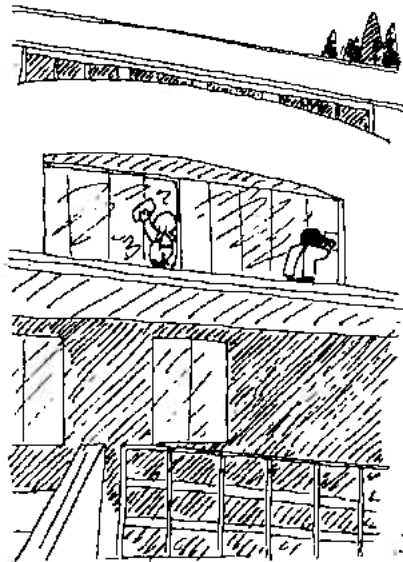
②マンガン鉱山跡  
(平成27年1月26日)

吉村地内にあります。田口鉱山ほどではありませんが、まっ黒な鉱石を割ると、ピンクに染った新鮮なマンガン鉱(バラ輝石)があらわれます。

## 野外学習会「冬の秘境探検」

(平成27年2月8日、雨のち雪、25名参加)

場所は相山。朝からの雨は林道を登るにつれて雪にかわり、探検気分を盛りあげてくれます。目指す大島の滝に着く頃には、一面銀世界。松脂岩(セッチストーン)を流れ落ちる滝は、周囲が凍り、岩の黒と雪と水の白とのコントラストがさわたく、とても幻想的な光景でした。



③障子岩岩脈・三河白(平成27年3月13日)

総延長2.9kmにも及ぶ国内最長規模の大岩脈です。反対側の尾根からの景色は圧巻で、谷底から山頂まで一直線に伸びた岩脈を一望できます。また、この谷の最深には、全国に知られた三河白(砥石)の産地が眠っています。

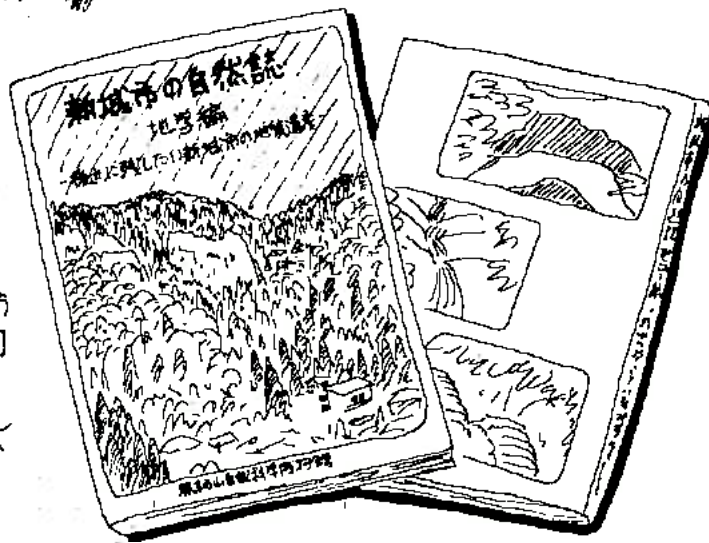


## 新城市の自然誌「地学編」発刊

(平成27年1月31日、1,000冊)

「昆虫・動物編」に続く第2弾です。執筆陣とすこいです。新城地方の地質概説から始まり、外帯、内帯の地質、中央構造線、設楽層群の火成岩、海成層、作手高原、豊川流域の地形、鉱物までくわしく解説。当館学術委員と協力員がそれぞれの専門分野を中心に筆をとっています。

新城市民と博物館と新城の自然を愛する人には、必携の書です。



## 博物館協力隊の活躍

12月23日には、年末恒例の大そうじ大会をおこないました。15名の隊員が出勤し、自分の家よりも先に博物館をきれいにしてくれました。

平成27年2月7日は、新城市文化会館で開催された東三河ボランティア集會に参加。

ブースで日頃の活動をパネルで紹介したり、ワークショップをおこなってきました。



## はつなごり 174 2015.3

### 野外学習会「櫻淵公園の野鳥観察」

(平成27年1月11日、はれ、24名参加)

同日におこなわれた新城市消防団の出初め式と場所と時間が重なっていました。

式典に飛来した防災ヘリにミサゴが大接近。空中での共演を観ることができました。

この日は、オオバンなどの水鳥をはじめ、32種の野鳥に出会うことができました。



## コハズクがコリハウスにデビュー

(平成26年12月5日)

10月6日に日進市から運ばれてきたコハズクです。食欲の回復とともに体重もとつきました。ケガの確認も兼ねて、中庭のケージ「コリハウス」にひっこすことにしました。

しばらくは落ち着かず、中を飛びまわっていましたが、寒い冬を耐えて、今では昔かういような顔をして私たちが枝から見おろしています。

## 博物館ガイドツアーの利用

平成26年12月2日	黄柳川小学校(全校)
12月18日	鳳来中学校(1年生)
平成27年2月25日	鳳来東小学校(5-6年生)
2月26日	東郷西小学校(6年生)
2月27日	海老小学校(全校)



## 花だより

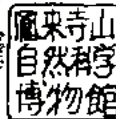


セツアソウ 1月24日



チツボスミレ

3月7日



# 春のしんし3

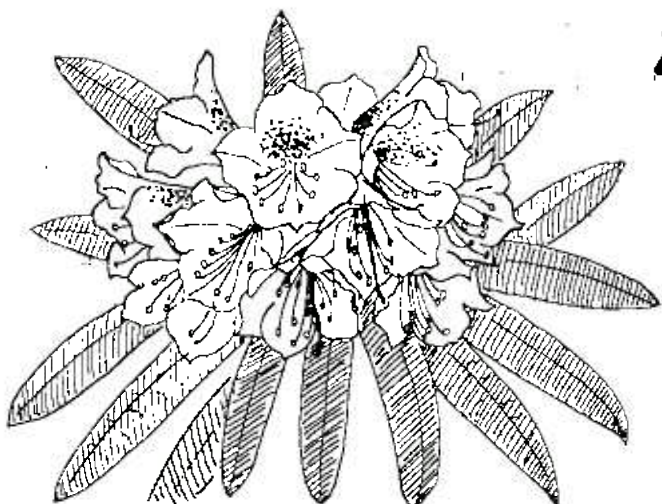
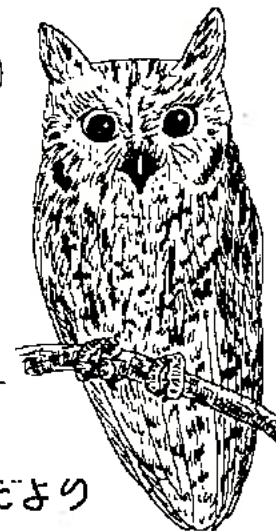
野外学習会「雨生山の植物を観察しよう」  
(平成27年4月29日、くもり、40名参加)

博物館行事としては初の場所でした。蛇紋岩地帯の特殊な植生で、遠くから見るとよくわかる有名な地域です。表土が浅く、植物はどれとどけられたように小さくなっています。ハルリンドウ、ツクバネウツギ、カマツカ、キシムシロ、モンランなどの花を見ることができました。



ひと声鳴いてみました🦉  
(平成27年4月30日)

少し遅くまで仕事をしていました。19時50分、保護中のコハスグがいる中庭から「フッポーソー」と一声聞こえてきました。鳳来寺山へ届くといいなあー



奥三河の名花:ホソバシャクナゲ  
(平成27年4月23日、鳳来寺山)

鳳来寺山以北の奥三河地方と、遠州北部にのみ自生するシャクナゲです。細い葉と裏側の細かいわたのような毛が特徴で、紫がかったピンクの花が房状に咲く姿は、誰もがうっとりします。



新城市の地質百選が完成  
(平成27年4月1日)

ジオパーク構想を進める、新城の地質的見どころを100ヶ所選んだパンフレットです。大きさはA2サイズ(新聞片面より少し大)で一面は写真100点と位置図です。二面はその解説と地質図、地質年代区分です。100ヶ所でも紹介しきれなかった場所があります。また、まだ知られていない名所があると思います。本の自然誌「地学編」とあわせて活用していただくと、郷土の魅力がさらに深まります。

春の生きものたより

- 3月25日 ハナノキ咲く(博物館前庭)
- 3月28日 ショウショウバカマ咲く(門谷参道)
- カタクリ咲く(博物館中庭)
- 3月31日 ソメイヨシノ咲く(門谷)
- 4月2日 ヤマアキ咲く(環老勢)
- 4月4日 ヤマサクラ咲く(門谷)
- 4月9日 ウメハルシメジ発生(大野)
- 4月21日 サシバ飛来(只持)
- 4月25日 コハスグ鳴く(四谷)

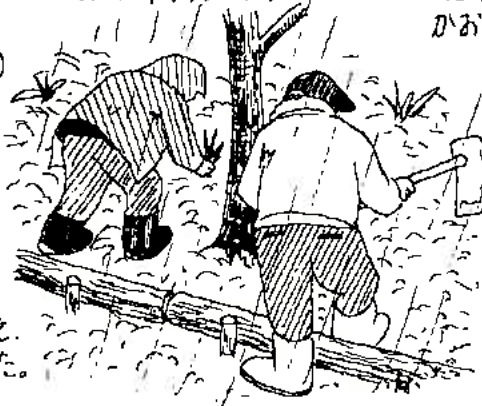
特別展「新城市の自然誌-地学編-展」  
(平成27年4月19日~8月31日まで開催)

この春に発刊した「地学編」を紹介する特別展です。この地方の地質の成り立ちを「しんし3の大地の物語」として、わかりやすく解説しています。本の中で紹介している実物の標本も展示し、実際に触れるものもあります。



前庭整備(平成27年4月3日)

5月に入ると館の周辺は草が一気に伸びはじめます。お客様に見て喜ばれる植物にしようと、学術委員の小林先生と山田由先生が、エビネ、オオチゴヅリなどを植え、花だんを作ってくれました。



学術委員総会・友の会総会  
(平成27年4月19日)

午前に学術委員総会、午後には友の会総会が開催されました。友の会総会では、小山賢二先生の長年の職場での体験や、実績について講演をしていただきました。

終了後は、楽しい五平もちづくりの懇親会でした。味噌の焼けるかおりが鳳来寺山麓にひろがりしました。

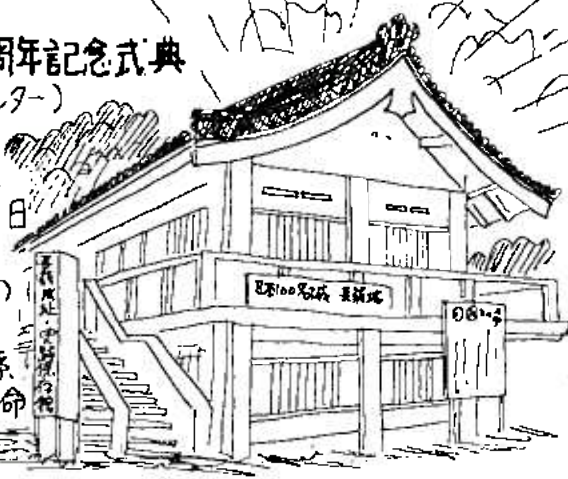


長篠城址史跡保存館50周年記念式典  
(平成27年4月25日、開発センター)

昭和39年11月3日にオープンした保存館が昨年、50周年を迎え、この日に記念式典を開催しました。

「創立50周年記念誌」が半世紀の活動の重みを物語っていました。

歴史教科書で必ず登場する長篠の戦いの資料を保存する重要な使命を持った施設です。



ガイドツアー・学校利用

NPO団体(16名)と、八名中学校1年生のみなさん(41名+6名)が利用してくれました。

はがつかたより 175  
2015.4

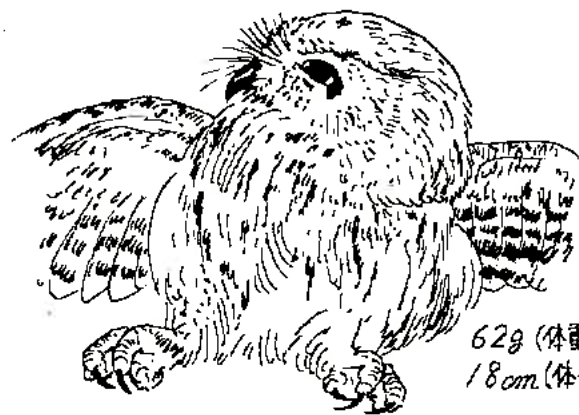
# コハズフの季節



はがっかだも 176  
2015.5

黄柳野高校生「グレートアース」体験

友の会行事「コハズフの声を聞く会」  
(平成27年5月30日、17名参加)

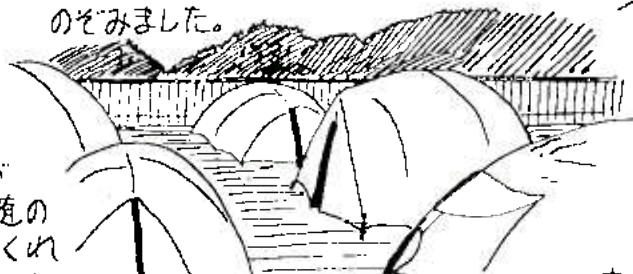


62g(体重)  
18cm(体長)

これまでに何度か実施してきた聞く会です。今回は、鳳来寺山の高德、大島ダム、仏坂峠に出かけて鳴き声を待ちました。鞍掛山にある仏坂峠では、2羽で鳴き交わすようすを、はっきりと聞くことができ、大感激。実は、鳴き声を実際に聞いたのは、今回が初でした。とても好運な「聞いた会」でした。夜中まで出掛けたメンバーはテント泊でのぞみました。

怪我してしまいました!  
(平成27年5月21日)

名古屋市中村区で保護されたコハズフが運びこまれました。左眼出血、両翼、両足不随の重傷です。幸い、食欲はあり、餌は食べてくれました。まずは機能回復のためのリハビリが必要です。完治をめざして保護飼養を続けることにしました。



鳴いてしまいました!  
(平成27年5月27日、30日)

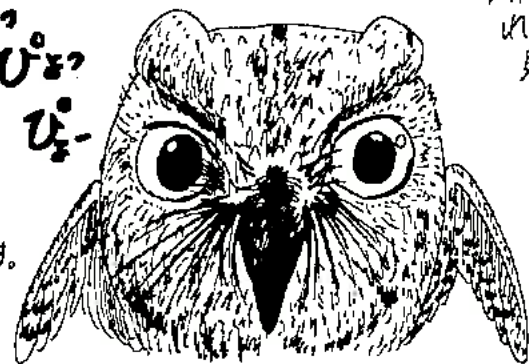
産んでしまいました!

右眼を失い保護飼養中のオコハズフが中庭のゲージの中で産卵しました。ただし、巣ではなく、地面に産み落してしまいました。5月2日に2個、23日に2個、27日に1個の計5個です。さらに、昨年幼鳥でやってきたオコハズフの若鳥も5月11日に1個、つられるように産みました。

いずれも未受精卵。ゼンボン玉を小さくしたような、白くて死んだ卵でした。

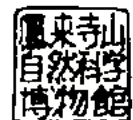
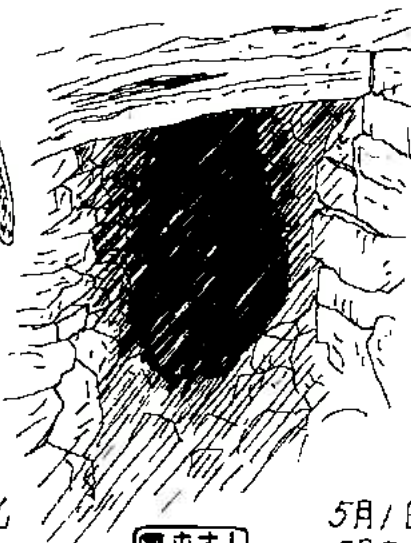


ぶっ  
びゅ  
びゅ

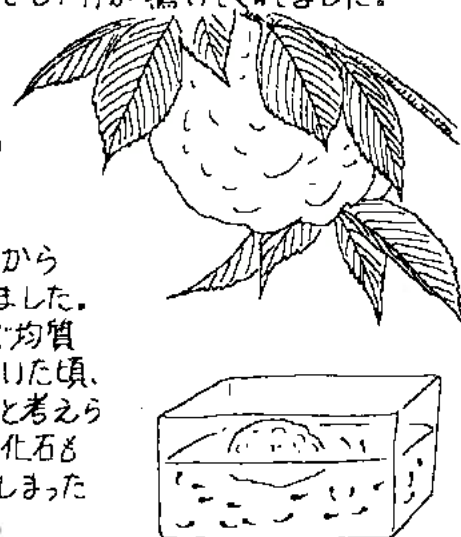


名古屋市中村区から救急搬送されてきたリハビリ中のコハズフ。眼の出血もだいぶ消えてきました。まだ、足腰は立たず、翼も自由に動かさない状態が続いています。この日、保護されているダンボール箱の中から「フッポーソー! フッポーソー!」と声が聞えてきました。今は彼らの繁殖期のどまん中です。元気ならば、今ごろペアになれていたかも。

名倉砂とも呼ばれ、古くから有名な砥石の産地跡に出かけました。砥石川の奥です。粒子が微細で均質の凝灰岩で、設楽火山が活動していた頃、湖に降った火山灰が固まってできたと考えられています。波の痕が残る漣痕化石も見つかりました。すでに閉山してしまった玄7の鉱山です。



三河白産地を探る  
(平成27年5月13日)



モリアオガエルの産卵始まる  
(平成27年5月15日)

博物館前の池で今年初の産卵がありました。本来、水の上に産むのですが、今年はいずれも多く目測を誤る親が多いようです。その卵塊は日ビーに行きます。

学校の利用

- 5月1日 東郷東小学校(64+38)
- 5月7日 海老小学校(全校)  
(湖山でオパールをさがそう)
- 5月29日 豊橋南高校(329名)

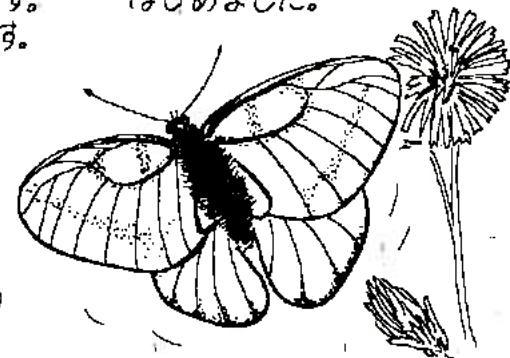
ミュージアムフェスティバル  
(平成27年5月2日~5日)

協力隊のみなさんとコハ君がもりあげてくれました。



ウスバシロチョウ舞う  
(平成27年5月6日)

今年もヒラリ、ヒラリと飛びはじめました。



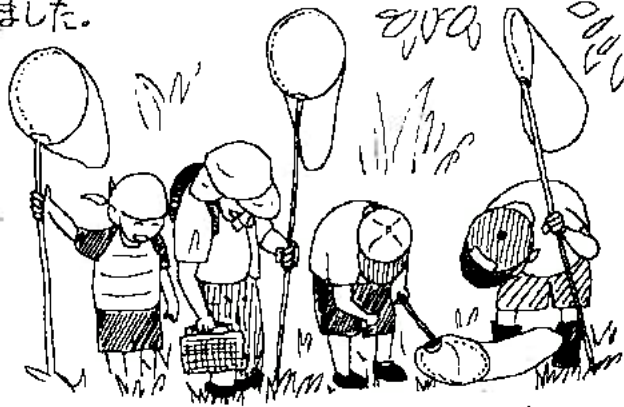
# 夏の博物館活動



中央構造線長篠露頭

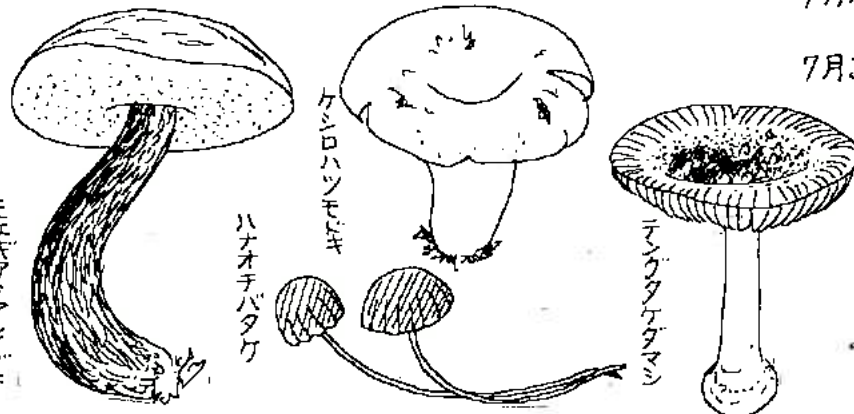
ジオツアー「新城市の中央構造線露頭見学」  
(平成27年6月28日、はれ、32名参加)

桜淵公園右岸の花崗岩源正砕岩、斑岩の緑色片岩を観察し、バスで北上。長篠露頭、睦平露頭を見学し、八井峠の細川断層とレ字谷の地形までをめぐりました。



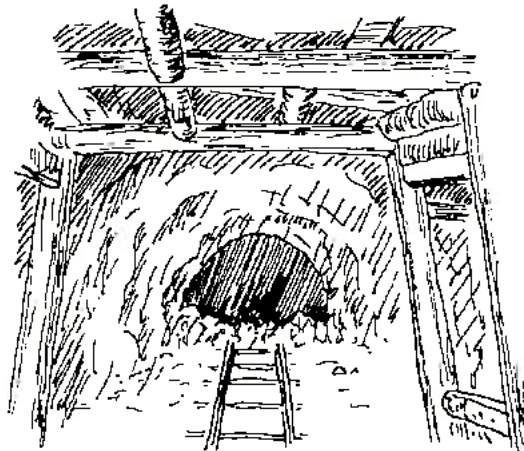
子どもと子どもにかえりたい大人の自然講座  
「昆虫のからだのふしぎ」  
(平成27年7月25日、はれ、19名参加)

博物館を出発して、高徳林道へ向いました。例年より昆虫が少なく感じましたが、トンボ類ではシオカラトンボなど5種、チョウ類ではワココマチウなど7種、その他ヒメカマキリモドキ、ヤマトタマムシ、ナナフシ、キマワリ、セミのなかまでニイニイゼミ、ヒグラシ、アブラゼミなどが観察できました。



野外学習会  
「四谷千枚田で生き物を観察しよう」  
(平成27年6月7日、くもり、40名参加)

農薬を極力使わない千枚田は、生き物たちが豊かです。水田の中には、モリアオガエルのオタマジャクシやタマシ、イモリが元気に動きまわっていました。



学習会「奥三河の鉱物採集と地質見学Ⅰ」  
(平成27年7月26日、はれ、35名参加)

東京町にある三信鉱工の鉱山を訪問しました。安山岩岩脈に沿って熱水の影響でできたセリサイトの鉱脈の露頭を観察し、ズリ置場で鉱物採集をしました。

掘り出されたばかりの新鮮なズリには、金色に輝く黄鉄鉱の結晶がきらめいていました。午後は坑道内に入れてもらい、採掘現場の先端まで見学させていただきました。貴重な体験ができました。

友の会行事「梅雨のきのこ観察会」  
(平成27年7月5日、雨、19名参加)

雨で絶好のきのこ観察びよりでした。会員限定の行事です。いつかの入梅の観察会より発生が多かったように思います。モエギアミアシグチやケシロハツモドキ、アハハツ、カワリハツ、テンアタケ、タマシなど、大型のきのこが多く見られました。

## 学校の利用とガイドツアー

- 6月13日 鳳来西小学校 「サマースクールin 愛郷」
- 7月4日 星城高校 博物館ガイドツアー
- 7月9日 庭野小学校 博物館ガイドツアー
- 7月12日 碧南水族館 「新城市のジオサイトをめぐろう」
- 7月31日 三好市福田地区親子遠足 博物館ガイドツアー



# はがつかだり No.177 2015.7

コハズクの合唱・仏坂峠  
(平成27年6月1日～2日)



新城市と設楽町の境界の仏坂峠では、今年もよく鳴いてくれました。設楽町側の神田では、2羽～4羽が鳴き交わすようすが何度も確認できました。



No.176号 参照

コハズクに合唱・中村区  
(平成27年7月2日)

名古屋市中村区から、大ケガでやってきたコハズク。一時回復したかに見えましたが、帰らぬ鳥となりました。飼養箱の中で立ちあがりたり、鳴いたりしてくれていたのに、残念です。

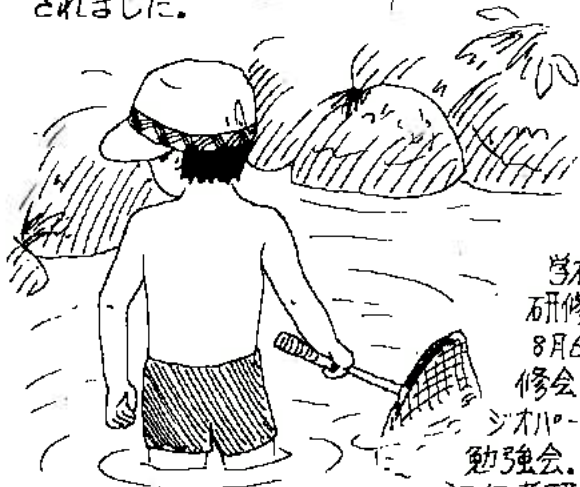
東三河生涯学習連携講座  
「石が教えてくれる大地のなりたち」  
(平成27年6月19日)

桜淵周辺で開催。豊川左岸の石英片岩や結晶質石灰岩の蜂の巣岩を観察。さらに右岸に渡って緑色片岩を観察しました。最後に河原において、上流から運ばれてきた石ころを集めて、石のふるさとの地質について学びました。この河原では、三波川帯、領家帯、設楽層群の岩石が集まって来るため、まるで岩石標本箱のようです。

# 夏の博物館のできごと

野外学習会「水辺や水中の生きものを調べよう」  
(平成27年8月2日、はれ、22名参加)

場所は博物館の前を流れる音為川です。  
魚類では、カワヨシボリとカワムツが観察できました。子どもたちにはサワガニが大人気でしたが、小さな水生昆虫では、コカクツツヒケラやシマトビケラ類、ゲンジボタル、ヒラタドムシなどが見られました。  
水質としては、きれいな水に判定されました。



## 学生の職場体験

8月5~7日、新城中学、小川くん  
8月5~6日、干郷中学、坂田くん  
8月10~12日、新城高校、金田さん  
8月19~21日、鳳来中学、小澤くん、山田さん



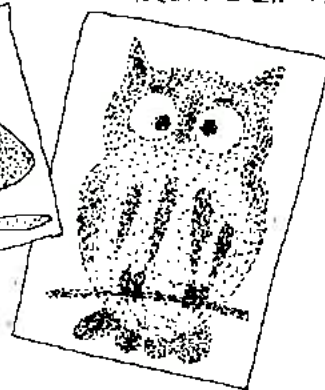
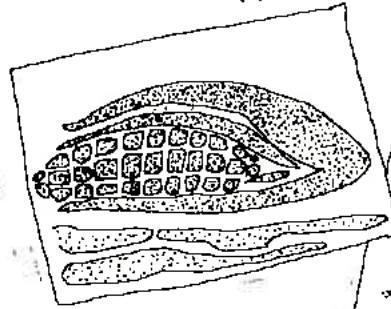
## 博物館の出前

7月29日「先生のための博物館の日in豊橋」  
豊橋市自然史博物館でワークショップを実施。  
8月5日「おもしろ実験教室」  
ちさと館でワークショップ実施。初出展でした。

## 先生の研修

学校の夏休みは、先生の研修があるようです。  
8月6日、市内教員の教育研修会理科部会で「東三河ジオパーク構想」についての勉強会。8月19日、東三河の初任者研修では当館はじめ市内の博物館の視察見学がありました。

定番の岩石割り  
やキャッチャーコンフ  
クりに取り組みました。



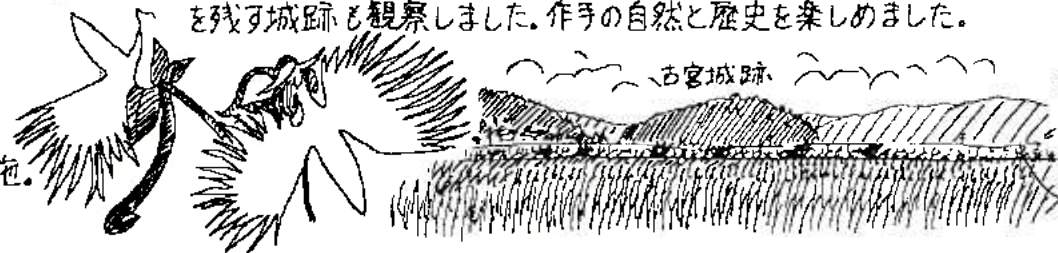
## 作手のサンショウウオ (平成27年7月18日)

昨年、卵のうの状態でもってきたサンショウウオは、すくすくと成長し体つきも立派になってきました。エサも自ら食べるようになったため、一部をロビーで飼うことにしました。見学のみさんも自由に観察することができます。



## ジオツアー「作手高原の地質と地形及び湿原観察」 (平成27年8月16日、くもり、28名参加)

標高約500mの作手高原には、かつて広大な湿原がひろがっていました。その成因を学んだり、残された湿地の植物観察をしました。  
また、今から約2万6千~2万9千年前に九州南部で大噴火した始良火山から運ばれた火山灰の層や、川で運ばれた礫岩層、戦国時代の遺構を残す城跡も観察しました。作手の自然と歴史を楽しめました。



## 子どもと大人のかえりたい大人自然講座 「自然を測ろう」(平成27年8月9日、6名)

自分のからだのいろいろな部分を定規として使うことで、物の大きさや距離を測ることができます。指の直径、手のひらの大きさ、ひじや足の大きさ、身長や両手をひろげた大きさ、歩中などです。ふだんの生活の中でも、とて役立つことがわかりました。

## 子どもと大人のかえりたい大人自然講座 「砂絵を描こう」(平成27年8月23日、12名)

日本や世界の砂絵の文化や、岩石の風化と砂のできかなどを学んだ後、豊川の川砂に着色して作った砂絵具で、作品づくりに取り組みました。個性的な砂絵が完成しました。



## はがっかだま No.178 2015.8

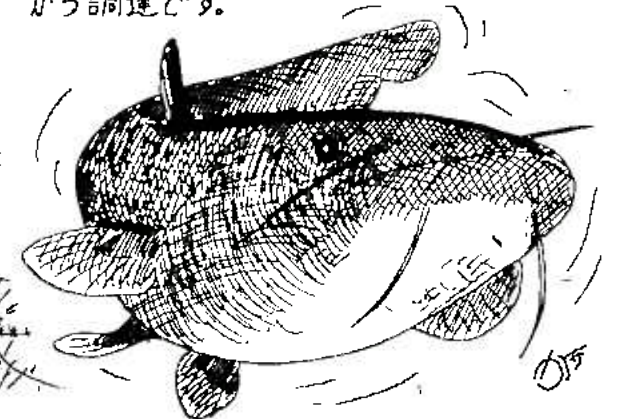


## ミュージアムショップリニューアル (平成27年8月1日)

ロビーの片隅にあるミュージアムショップの模様替えをしました。日曜大工店から購入した板で棚を新設し、イスや机の配置を変えて、商品を見やすくしました。品ぞろえや新商品を開発して、売上増をめざします。お立ち寄りください。

## 豊川(旧寒狭川)のナマズ展示 (平成27年7月28日)

寒狭川にある広見ヤナからやってきました。ヤナに入ったナマズを食堂の池に入れたところ、先に飼っていた魚たちを次々に食べてしまうため、博物館で飼育して欲しいというものでした。夏休み期間中でもあり、来館者に見てもらうことにして、引き受けました。エサは音為川から調達です。





# 秋の出会いと別れ

山不作の「きのこ展」  
(平成27年9月27日～10月31日)

開催期間中は晴天に恵まれ…と言いたいところですが、きのこにとっては、晴天に阻まれて…でした。雨はたったの2日間、展示したきのこはすぐにしおれ、新たに発生するきのこも少なく、見学のみなさんの期待に応える展示にはなりませんでした。

自然が相手のライブ展示でしたので、思いどおりにはいきませんでした。三河きのこ会のみなさんと多くの協力をいただきました。

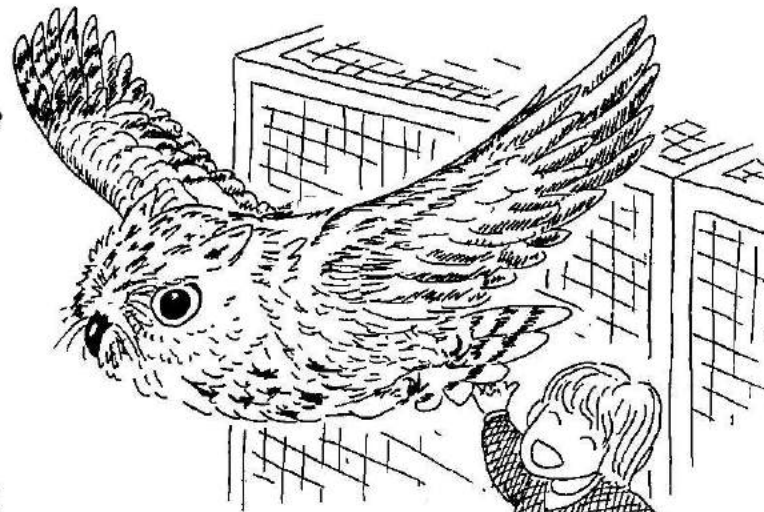


## 学校の利用

- 9月8日 名城大学学芸員 養成課程研修(44名+T1)
- 9月14～17日 黄柳野高校生インターンシップ(2名)
- 9月30日 作手小学校、南・北校(5-6年、29名+T3)
- 10月7日 一宮小学校(86名)
- 10月16日 黄柳野高校カレトアース「きのこ」(14名+T2)
- 10月22日 東郷西小学校(47名+T4)

## 奥三河の魅力体験バスツアー

10月3日、31日の2回にわたり、広葉樹の植樹体験と広葉樹林内に入って、きのこ観察をしました。

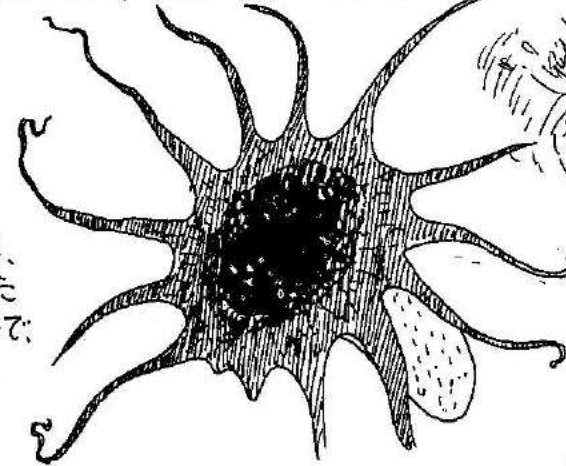


さようなら、元気でネ～  
(平成27年10月2日、はれ)

この日コハズクが旅立ちました。昨年の10月6日に日進市で保護され、博物館で飼養していた個体(コハXII号)です。12月からコハウスに転居し、リハビリを続けてきました。今春には「ブッポウソウ」と鳴いてくれました。もうすぐ1年と、なるところでの自然復帰となりました。

野外学習会「きのこを調べよう」  
(平成27年10月11日、雨、23名参加)

作手高原の鬼久保ふれあい広場周辺で開催。久しぶりの雨でした。たくさんの目でさがした結果、104種のきのこに出会えました。その中でも注目されたのはアカイカタケです。まっ赤なイソギンチャクといった形で、とてもきのことは思えない姿です。異臭も放ち、一度出会ったら忘れられません。

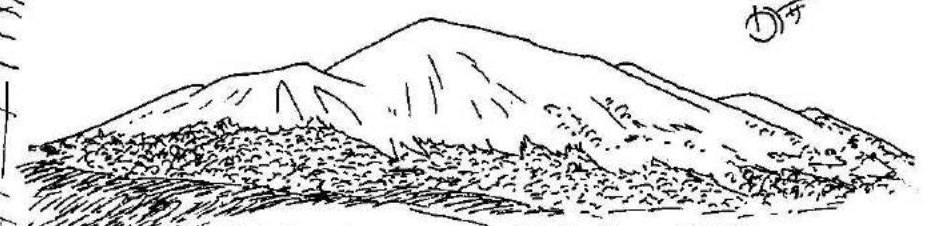


モモンガと会いました  
(平成27年10月24日)

鳳来寺山本谷へ、きのこ展用のきのこを採集に行った時でした。弁当をひろげた目の前の木で、リスくらいの大さの動物が動くのを小笠原さんが発見。モモンガでした。本谷では初記録です。そして数年ぶりの出会いです。日中でもかなり活発に動きまわっているようです。



はつなごり No.179  
2015.10



日本ジオパーク全国大会in霧島  
(平成27年10月27日～29日)

東三河ジオパーク構想の実現に向けて、豊橋市自然史博物館と共に全国大会に参加してきました。説明会や分科会、交流会を通して情報集りに努めました。

世界ジオパーク78ヶ所、日本ジオパーク39ヶ所、ジオパークを目指す地域が、全国から集まった、とてもパワフルな大会でした。ジオパークのネットワークの強さと、メンバーの熱意と、ふるさとの大地を愛する気持ちが、各地のジオパークを動かす原動力になっているのたなど感じました。

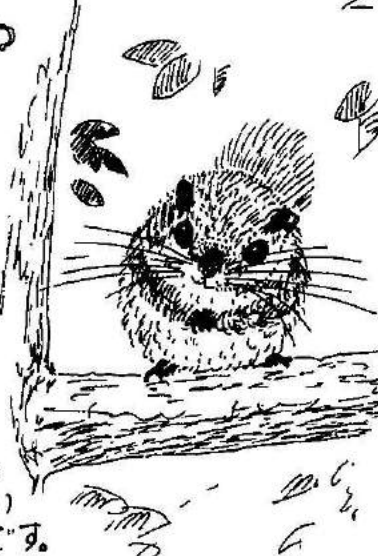


湿地サミットin田原  
(平成27年10月2日)

田原市にある黒河湿地の保全やジオサイトとしての湿地の魅力について講演を聞いた後、現地の見学をしました。

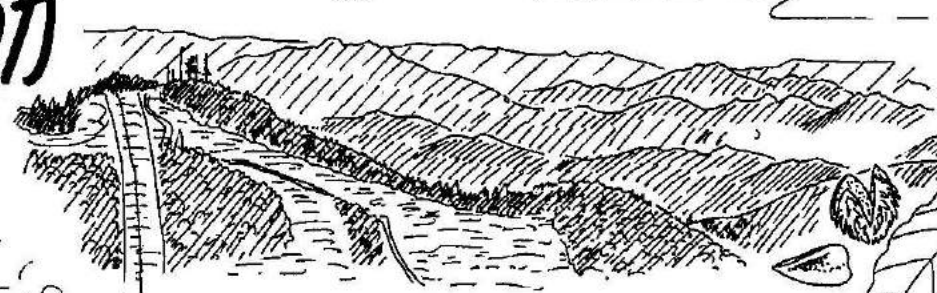
湿地を持つ県内の14の市町と愛知県の担当者が集まるサミットで、来年度は岡崎市、次は新城市で開催されます。

県内有数の湿地がある新城市作手地域が舞台になります。



# 秋と博物館活動

はつなだより No.180  
2015.11

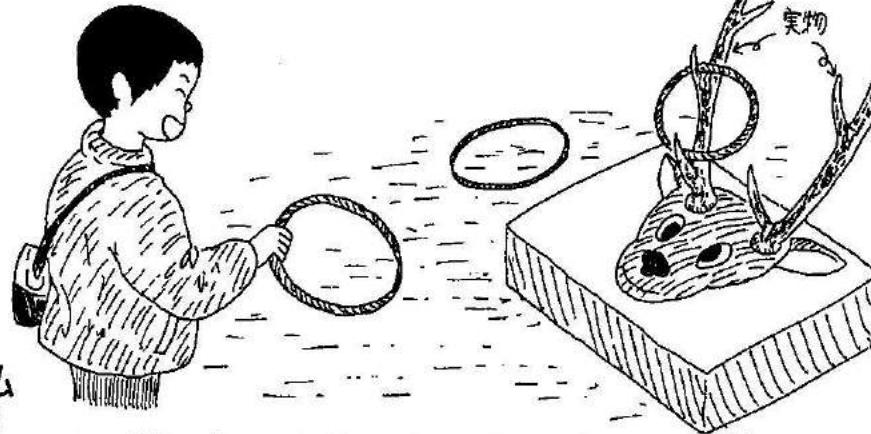


## 野外学習会「茶臼山の植物を観察しよう」 (平成27年11月3日、はれ、参加者18名)

博物館の学習会では、初めての茶臼山高原です。登山道を一歩県内最高峰の茶臼山(1415m)へ向かいました。標高の高い所では見られないうすハカエテなど、めずらしいカエテの仲間が観察できました。山頂からは南アルプスの山々、設楽地方の山並を大パノラマで一望でき、奥三河の秋を満喫しました。

## 野外学習会「奥三河の鉱物採集と地質見学Ⅱ」 (平成27年11月15日、はれ、参加者34名)

今回は設楽町津具方面に出かけました。第三紀の設楽層群の堆積岩と火成岩が分布する地域です。戦国時代に武田信玄が金を採掘したとされる信玄坑や昭和の初期に再開発され、戦前まで稼働していた津具金山跡を見学しました。金山跡を流れる小川では「ハンピング」をしました。帰ってから顕微鏡で確認すると、小さいながらも辰砂、輝安鉱、黄鉄鉱、ザクロ石、自然金などの鉱物が入っていました。



新作の壁面投影を映し出して来場者を迎えました。千の灯火のろうそくに灯された参道は、とととと想的で、博物館へとおおせい立ち寄ってくれました。館内ではホテル石などの光る石の解説と実演、即売が人気でした。14日にも予定していた千の灯火とナイトミュージアムが、雨で中止になったことが残念でした。紅葉も例年より10日以上遅れているようです。

## ナイトミュージアム (平成27年11月28日(土)17時~20時、はれ)

## ジオパーク構想シンポジウム (平成27年11月29日、蒲郡)

生命の海科学館を会場にして開催しました。講師は、山陰海岸ジオパーク公認ガイドで、たしま海の学校副代表の今井ひろこさんと、豊橋市自然史博物館の松岡館長にお願いしました。今井さんからは、自らの実践と体験をとおして、ジオパークの魅力と活用事例を熱く語っていただきました。松岡さんには東三河のジオパーク構想と蒲郡のジオサイトの見どころを紹介してもらいました。さらに、午後は竹島を一周するミニツアーのガイドもしていただきました。

## 秋のミュージアムフェスティバル (平成27年11月21日~23日)

紅葉が進まない中での感謝祭となりました。新作の鹿角輪投げがアミルターズを抜く人気ゲームに躍進。宝石さがしは、あいかわらすの一番人気でした。コハ君と連日出没し、子どもたちにいじられたり、つかれたり、泣かせたりの活躍でした。



## ガイドツアー、現地観察会

- 11月6日 ちさと文化講座(千郷中学校)「秋のきのこ」(27名)
- 11月25日 東海市エコスクール 鳳来寺山ガイドツアー(40名)
- 11月27日 へき地キャリア教育 ガイドツアー(33名+T7)(黄柳川、鳳来寺、海老、連谷の各小学校)

## 葎が滝調査(平成27年11月10日)

宇連川を断層が縦断してきた滝です。新城市の地質百選にも選んだ、教育長とお力めのスポットです。レーザー計測と巻き尺の新旧おりませた手法で滝の幅と落差を測りました。その結果、幅は約80m、高さ約3.5mと判明しました。滝の定義では、高さ5m以上とされていますが、少し足りませんでした。幅は東京町の蕨の淵の大滝、70mより長く、奥三河最大の滝幅であることがわかりました。



—東三河のジオパーク構想—  
**東三河にジオパークを！**  
シンポジウム

○平成27年11月29日(日)  
10:00~15:00  
○蒲郡市生命の海科学館メテオホール  
○60名